



薬剤師による術前薬面談

患者支援センター

薬剤部

周術期外来

全診療科に拡大

手術前にはお休みしなければならない薬剤（「休薬」と言います）があります。

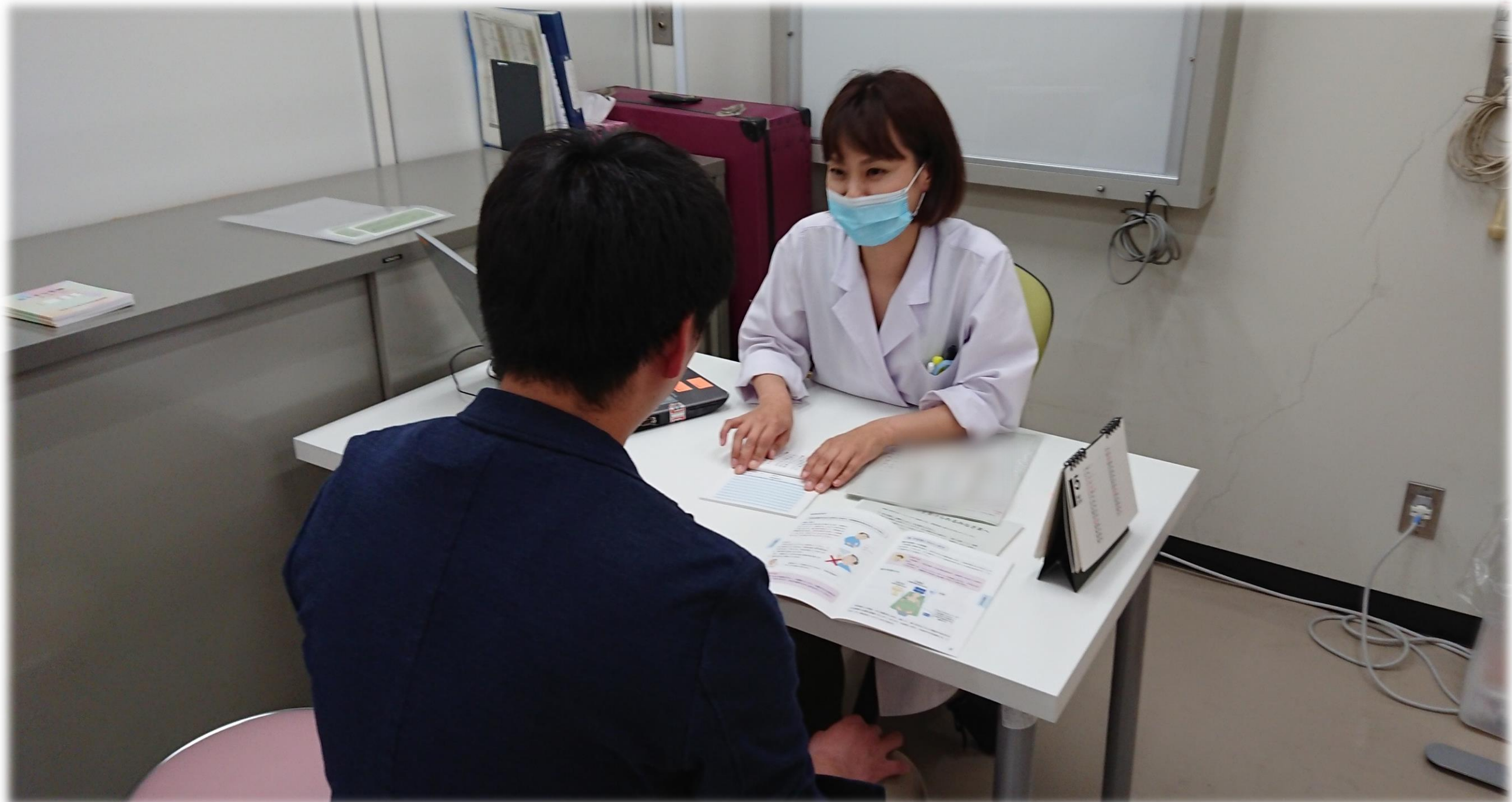
薬剤師による術前薬面談は、全身・腰椎麻酔の手術を受ける患者さんの常用薬を把握し、休薬し損なうことで発生する手術延期を回避することが主な目的です。ジェネリック医薬品の普及により薬剤の種類が大幅に増えたため、薬剤師が常用薬を確認することで、休薬漏れを防ぐことができます。

これまで薬剤師面談を5つの診療科のみに限定していましたが、2019年3月からは全診療科を対象とし、全身・腰椎麻酔で手術を受ける患者さんに薬剤師面談を開始しました。今回はその取り組みについて紹介します。

入院前にお薬手帳を用いて面談

- ・手術をする患者さんの持参薬の確認（目薬、塗り薬などすべて）
- ・サプリメント・健康食品・市販薬の有無

※最近サプリメントにも血液さらさら成分含有のものも多く販売されています。（EPA・DHAなどの魚油成分、ニンニク成分など）



手術日決定 各診療科で手術日が決定します。

**麻酔科受診
薬剤師面談** 手術日4週間～2週間前になると、麻酔をかけるための診察を受けたり、手術にあたり常用薬を確認したりします。

手術 手術前日に入院し、手術に向けた最終確認を行います（主治医・麻酔科医・薬剤師・看護師等）。

以下のような薬剤を重点的にチェックしています！

（一部紹介）

- ・アスピリンなどの抗血小板薬
- ・ワルファリンカリウムなどの抗凝固薬
- ・イコサペント酸エチルなどのEPA製剤
- ・リマプロストアルファデクスなどのプロスタグランジン製剤
→ いわゆる血液をさらさらにする薬剤です。出血のリスクを助長する可能性があります。

- ・ラロキシフェン塩酸塩など骨粗鬆症治療薬
- ・ピルなどのホルモン製剤
→ 副作用として血栓症がある薬剤です。長期不動状態で血栓形成を助長する可能性があります。

休薬指示が出ていない場合は、疑義照会し休薬指示の依頼をします。

→ 面談では患者さんに休薬すべき薬の名前、休薬する理由、休薬開始日、休薬期間、休薬しなかった場合の問題点を丁寧に説明しています。

面談内容を電子カルテに記載

- ① 持参薬を持参薬オーダーに入力
休薬の必要な薬剤を●で強調し、休薬期間の目安を記載しています。
- ② サプリメント・健康食品・市販薬
- ③ 副作用歴・アレルギー歴・喘息の既往
- ④ 予防接種

2019年02月22日(金)
薬剤師 - (その他)
18:20
入院前薬剤師面談
保険診療

入院前薬剤師面談実施
診療科で休薬指示を確認するようお伝えしました
特記事項：●バイアスピリン内服中。休薬期間の目安は7日
【持参薬】
持参薬オーダーを参照して下さい
【健康食品・市販薬】
なし
【副作用歴】
あり：クラビットで発疹
【アレルギー歴】
花粉
【喘息】
あり
最終発作：6歳
NSAIDsの使用歴：ロキソニンあり
【予防接種】
あり：2018年11月 インフルエンザ

医師

診療科
麻酔科

薬剤師

入退院センター
病棟
手術室

看護師

外来
病棟
手術室

手術には多くのスタッフが関与します。

他のスタッフと情報共有することで、手術を予定どおり行えるよう支援しています。

お願い

お薬手帳を必ず持ってきてください！！

血液さらさらの薬を飲んでいる方は必ず申告してください！

安心で安全な医療を行うためにご協力をよろしくお願いいたします。

